

○開催に至った背景や狙い

これまでの長年のコロナ禍により自治会活動うち、特に親睦機能が停止した状態が継続したため、会員の皆さんの中に、「自治会に加入していてもメリットを感じない。」などの思いを持たれる方が増え始め、自治会を脱会される方が増えてきました。

役員会議の中でも「どうすればいいのか」、「どうすべきか」の検討を重ね、さまざまなことを模索し、たどりついたのが「自治会独自の自主防災訓練の実施」でした。

これは、近年において全国各地で発生する地震、台風、集中豪雨等により甚大な被害が起こっていること。そして、自然災害においては、何時どのような被害にあうかわからないのが実情であること、これらを踏まえ、地域住民の防災意識の向上を図ることを目的とし、かつ防災意識を向上させることでもたらすであろう、地域住民のつながりを深める効果を狙い実施したものです。

○実施した感想

訓練に参加いただいた方全員が真剣に取り組んでくださったことに感謝しています。

また、各訓練の終了後には、消防署員への質問が飛び交っていました。その様子を伺い、当自治会会員及び住民の皆さんの防災意識は決して低くないと感じました。

○苦労した点

できるだけ多くの方に参加してほしかったので、回覧板以外にも各家庭へのビラの配布や訪問しての呼びかけ等を行いましたので、参加者を集うのに苦労しました。

また、防災訓練の内容に起震車による震度7の体験をどうしても入れたかったため、起震車の手配に苦労しました。相楽中部消防組合消防本部の皆さんには、他市への引き渡し時間の予定をずらしていただき、それにより空いたわずか2時間の枠に組み込んでいただきました。他市への連絡や調整等、本当にお手数お掛けしました。ありがとうございました。

○今後に向けて（何か思いがあれば）

今回の防災訓練内容うち、初期消火訓練と救命救急訓練においては、消火器取り扱い方法や倒れられている傷病者への対応など、普段の生活している中でまず考えることはないと思いますので、今回教わったことも半年、1年が経過すれば、すべてではないですが忘れてしまうと思います。

防災訓練は何度も反復して取り組むことで効果をもたらすものであると思います。

よって、今後自治会としては、木津町区の防災大会への参加呼びかけ、自治会独自の行事として防災訓練を毎年恒例のものにできれば、地域住民の更なる防災意識の向上につながることができるのではないかと考えています。



